

平成16年4月 1日から
平成17年3月31日まで

平成16年度（第58年度）

事業報告書・決算書

財団法人 三越厚生事業団

総括

平成16年度は「先進化」と「高質化」をテーマに二つの重点的な取り組みを行ってまいりました。

一つは当財団の使命である「生活習慣病を予防する」を実現するための健診内容の見直し、知識の取得、技術の研鑽、健康に対する正しい知識の普及活動、適切で迅速な治療の実施等です。

例えば、健診項目では今注目され動脈硬化のリスクである高感度 CRP をいち早く導入し、その有用性を実証し高い評価を得ておりますが、平成16年度は新しいハード、ソフトの見直しを機に基本的な健診項目に加え、人によって必要とする適切なオプション検査を充実させ、しかも公益事業として低額で実施できるように工夫を凝らしました。また、年々関心が高まる健康についてさまざまな情報が大量に流れておりますが、当財団として正しい知識を正しく理解していただくことを目的に健康セミナーを開催しております。本年は昨年に比較して2回増やし、7回開催いたしました。今後も草の根運動ではありませんが、地道に続けていく必要性を感じております。

一方、急速に発展している医学の領域で新しい研究に取り組んでいる医師はじめ関係者に対する助成事業も、さらに高度で先進的な課題を設定し実施することによって、医学界の発展ひいては生活習慣病の予防に貢献するものと考え、本年度も9名の方に助成金を交付いたしました。

二つ目は公益法人改革を前に公益法人、財団としての運営に関する取り組みがあります。

公益法人の指導監督基準はもとより、各種規程の整備に加え最近話題になっている倫理、個人情報保護等に関する内部規定の設定とその啓蒙活動を実施いたしました。個人情報に対する当財団の基本的姿勢、倫理憲章や行動基準を職場及び院内に掲示するほか会議、研修会等を実施し徹底を図っております。

さらに資金の有効活用の面で、本年度新たに事業基金を設定いたしました。本年は平成10年度以来5年ぶりに収支差益がプラスになりますが、その繰越益に収益事業の収益を繰り入れ、さらに過去に実施した元入金を特別会計から一般会計へ移動し、資金の効率化を図るとともに、今後ますます必要とされる公益事業を継続且つ発展させるための事業基金を積み立てることといたしました。この事業基金をもとに私達の使命を遂行することによって、市民社会に貢献し公益法人として57年の歴史にさらに新しい時代の歴史を積み重ねていくインフラはほぼ整備され、次の段階に進むことができると考えております。

尚、各種情報につきましては当事業団ホームページで適宜開示致しております。又、皆様よりご意見、ご要望等ございましたら、ホームページ・FAX・電話等によりお寄せ頂ければ幸いです。

三越厚生事業団ホームページ

URL : <http://www.mhwf.or.jp>

E-mail : mhwf@f5.dion.ne.jp

当事業団は事業目的達成のため、下記の通りの活動を実施した。

寄附行為事項

1. 生活習慣病の予防、診断治療に関する研究事業（寄附行為第4条第1号事業）

当事業団役員並びに職員の研究成果の公表

(1) 臨床的研究の発表

平成15年度各種健診の統計的調査と観察成績を「事業年報」第31号に発表し各職域健康保険組合及び関連財団法人等123団体へ配布した。

(2) 当財団医師等による研究結果の発表は以下の通りである。

当事業団医師等の学会における演題発表

氏名	参加月	名称	演題
近藤修二	4月	第101回日本内科学会講演会	左室駆出率正常者の左室心筋重量、血圧、BMI及び左室機能の間の相関
近藤修二	5月	日本超音波医学会 第77回学術集会	左室駆出率正常者の拡張能を含む心機能の男女差
土井玲	"	第52回日本消化器内視鏡技師研究会	上部消化管内視鏡検査における有泡性粘液除去剤の有効な投与法の検討
中村治雄	6月	第36回日本動脈硬化学会	マクロファージにおける ABCA1 のグルココチコイド受容体による転写調節
中村治雄	"	"	酸化LDLレセプター遺伝子多型 LOX1と冠動脈疾患(CAD)の関連性
毛利恭子	8月	第45回日本人間ドック学会	メタボリックシンドロームと高感度CRP
寺田奈美	"	"	健診におけるBNPの分布範囲について
船津和夫	"	"	脂肪肝における血中ヘモグロビン値の検討
仲栄真 喜美重	"	"	高輝度脾と生活習慣病因子との関係について
中村治雄	10月	第26回日本臨床栄養学会 第25回日本臨床栄養協会「第11回大連合大会」市民公開講座	生活習慣病はどうやって予防するか - 動脈硬化から身を守るには -
中村治雄	3月	第60回日本循環器学会	High Plasma levels of osteopontin(OPN) in patients with restenosis after percutaneous coronary intervention (PCI).

海外における学会発表

氏名	職種	参加月	名称	演題	開催地
横山 雅子	医師	9月	12th World Congress on Biomedical Alcohol Research	Alcohol Hangover and Aldehyde dehydrogenase 2 genotype in Japanese men	ドイツ
山下 毅	医師	10月	第15回 Drug Affecting Lipid Metabolism(DALM)	The Significance of C-Reactive Protein as a Cardiovascular Risk Factor in JAPANESE.	イタリア

当事業団医師の外部講演会（医師、放射線技師等への啓蒙活動）

氏名	参加月	名称	演題	開催地
中村 治雄	4月	高知県医師会学術講演	脳・心血管イベント抑制のためのスタチン治療の重要性	高知市
"	6月	沼津内科医会学術講演会	高脂血症診療のコツ	沼津市
船津 和夫	9月	全日本コーヒー協会最新情報セミナー	コーヒーは飲酒者の高血圧を改善する	東京都
"	"	"	"	大阪市
中村 治雄	10月	ファイザー循環器フォーラム2004	「脳心血管イベント制御の新たなアプローチ マルチプレリスクファクター患者の治療戦略」スタチン投与の臨床的意義と安全性	名古屋市
"	11月	宇都宮薬師会	積極的脂質低下療法におけるスタチンの安全性	宇都宮市
"	"	ソニー健保組合	コレステロールを考える	東京都
"	1月	高脂血症カンファランス2005	MEGA STUDY に期待すること	東京都
"	2月	横浜医師会学術講演	積極的脂質低下療法におけるスタチンの安全性	横浜市

当事業団医師の発表論文

論文名	氏名	掲載雑誌名
日本人の食生活と動脈硬化	中村 治雄	動脈硬化予防 2004 ; 3 : 60-71
EPA(n-3 多価不飽和脂肪酸)のエビデンス No.5 脳血管疾患とEPA	"	Prog. Med. 24:725-731,2004
動脈硬化と高脂血症について	"	健康医学 18 : 512-519,2004
食事性抗酸化物の摂取と2型糖尿病	"	日本医事新報 4176 : 24,2004
生活習慣病の改善と痴呆予防（座談会）	"	成人病と生活習慣病 34 : 489-498,2004
EPA(n-3 多価不飽和脂肪酸)のエビデンス No.6 2型糖尿病とEPA	"	Prog. Med. 2004 ; 24 : 1253-1258
高脂血症と痴呆	"	成人病と生活習慣病 34 : 513-518,2004
高感度CRP (C-reactive protein) の測定	"	日本臨床 62 : 1125-1131,2004
In vivo magnetic resonance evaluation of associations between aortic atherosclerosis and both risk factors and coronary artery disease in patients referred for coronary angiography.	Nakamura H	Am. Heart J. 2004;148:137-143
Plasma vascular endothelial growth factor level is elevated in patients with multivessel coronary artery disease.	Yamashita T, Nakamura H, et al.	Clin. Cardiol. 2004; 27: 281-286
長期間の健診結果を比較するには標準化と精度維持が重要	中村 治雄	薬の知識 2004 ; 55 : 16
EPA(n-3 多価不飽和脂肪酸)のエビデンス No.7 EPAの最近の臨床試験と国内における疫学	"	Prog. Med. 2004 ; 24 : 1715-1720
肥満は正には低脂肪食か低糖質食か	"	日本医事新報 4191 : 17,2004
Design and baseline characteristics of a study of primary prevention of coronary events with	MEGA Study Group	Circ J. 2004;68:860-867

pravastatin among Japanese with mildly elevated cholesterol levels. -Management of Elevated Cholesterol in the Primary Prevention Group of Adult Japanese (MEGA) Study Group-	(H.Namura)	
A randomized, open-label, comparative study of simvastatin plus diet versus diet alone on angiographic retardation of coronary atherosclerosis in adult Japanese patients: Japanese Utilization of Simvastatin Therapy (JUST) study.	Nakamura H	Clin Therapeutics 2004;26:878-888
植物ステロールエステルを含有したジアシルグリセロール配合マヨネーズ様食品の長期摂取が身体データおよび血清コレステロールの変動に及ぼす影響と安全性の検証	中村 治雄	Prog. Med. 2004 ; 24 : 2342-2358
女性のコレステロール値&血圧が高くなったとき	//	ゆうゆう 2004 ; 11月 : 92-101
Meet the Boss (対談)	//	The Lipid 2004 ; 15 : 516-523
女性における高脂血症の薬物療法 (翻訳)	//	JAMA (日本語版) 2004 ; 11 : 94-105
スタチンと横紋筋融解症	//	日本医事新報 4205 : 43-50,2004
高トリグリセライド血症と炎症性マーカー	//	Mebio 2004 ; 21 : 109-112
高脂血症とその見方	//	HAJIII 2004 ; 5 : 12-15
高感度CRP (hs CRP)	//	Med Technology 虚血性心疾患と臨床検査 2004 ; 32 : 1465-1467 臨時増刊
Levels of matrix metalloproteinase-1 in patients with and without coronary artery disease and relation to complex and noncomplex coronary plaques.	Nakamura H	Am. J Cardiol. 2005;95: 90-92
Associations of plasma C-reactive protein levels with the presence and extent of coronary stenosis in patients with stable coronary artery disease.	Nakamura H, Yamashita T, et al.	Atherosclerosis 2005;178:173-177
Effect of lipid-lowering therapy with atorvastatin on atherosclerotic aortic plaques detected by noninvasive magnetic resonance imaging.	Nakamura H	JACC 2005; 45: 733-742
特定保健用食品の組み合わせ摂取の有用性の検討ー大豆蛋白と高濃度カテキン茶の併用ー	宮島恵美子、中村治雄	Prog. Med. 2005 ; 25 : 831-835
こんな症状があったら心臓病の疑いが	中村治雄	心臓病 主婦の友社 , p23-28
病原菌やウイルスの心臓病への関与	//	// // H16.4 p122-124
心臓を元気づける栄養素がある	//	// // H16.4 p148-157
心臓病の大敵、肥満を解消しよう	//	// // H16.4 p158-161
肥満を解消するための食事の心得	//	// // H16.4 p162-165
Efficacy and safety of the combined use of diacylglycerol oil with other cholesterol-lowering agents.	Yamashita T, Nakamura H, et al.	Diacylglycerol Oil AOCS Press, 2004
高脂血症	中村 治雄	生活習慣病講座産経新聞社 H16.6 p35-42
EPAのエビデンス	//	ライフサイエンス 2004、10月 p1p-45
間質メタロプロティナーゼ (MMP-1, MMP-2, MMP-3)	//	日本臨床、増刊号「広範囲、血液・尿化学検査・免疫学的検査 2004,11月 p514-516
高脂血症	//	総合健診ハンドブック p102-107
動脈硬化検査	//	中外医学社 2005,2月 p108-111
炎症マーカー (hs CRP)	//	酸化ストレスナビゲーター メディカルビュー社 2005,3月 p200-201
スタチン投与の臨床的意義と安全性	//	Medical Tribune 2004年12月16日 p48-49

(3) 平成15年度研究成果報告会実施

実施日 5月20日(木)
会場 エステック情報ビル21階 会議室E
発表者 10名
評価結果 1位 放射線部 和田 哲夫
研究テーマ：胃直接撮影におけるふとん(枕)圧迫の有用性
2位 医師部 横山 雅子
研究テーマ：二日酔いとアルデヒド脱水素酵素 2の関係
3位 臨床検査部 富田 美穂
研究テーマ：運動と高感度CRP

2. 生活習慣病その他重要な疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業(同条第2号事業)

(1) 低額集団健診事業

予防医学面から地域、職域を対象とした総合健診活動及び家庭の主婦を中心とした女性健診を実施し、生活習慣病その他重要な疾病の予防及び早期発見に努めると共に、健診結果に基づき健診者の生活指導を積極的に行い健康の保持、増進に寄与した。

平成16年度の実施状況は次の通りである。

集団健診 123社又は団体

生活習慣病健診	
検査内容	9,548名
女性健診	
検査内容	3,528名
生活習慣病健診特別コース	
検査内容	95名
計	13,171名

(2) 生活習慣病健診報告懇話会

当事業団で集団健診を行っている各職域の企業並びに健康保険組合の参加を得て、小講演会を開催すると共に生活習慣病健診所見に基づいて参加者と意見の交換を行い、今後の健診事業活動の参考とすべく開催された。

実施日：平成16年12月9日(木)
場所：新宿京王プラザホテル本館4階「けやき」「コンコードボールルーム」
参加組合数：22事業所及び健康保険組合
参加人数：66名
報告会：1) 講演 「外部から見た三越総合健診センター」
講師 社会福祉法人三井記念病院
総合健診センター所長
山門 實
2) 報告 「これからの健診のあり方と取組みについて」
- 来年度実施予定の検査項目改訂とその目的 -
三越診療所所長 船津 和夫
「来年度実施予定の新コンピューターシステム導入に伴う変更点について」
三越診療所副所長 山下 毅
「健診事例報告」 - ある企業における取組み -
常務理事 中村 治雄

(3) 無料巡回健診

無料奉仕の健診を次の通り行った

期 間 6月21日(月)～ 7月2日(金)(パサージュいなぎのみ6月21日と12月9日)
巡 回 先 6施設

		延人員	2,888名
信愛寮(老人ホーム)	血液検査	(18A・4A項目)	363名
	胸部X線撮影		263名
	心電図		352名
聖明園(盲・老人ホーム)	血液検査	(18A・4A項目)	398名
	胸部X線撮影		212名
	心電図		128名
サンホーム(老人ホーム)	血液検査	(18A・4A項目)	86名
	胸部X線撮影		74名
	心電図		51名
滝乃川学園(精神薄弱者厚生施設)	血液検査	(18A・4A項目)	92名
	胸部X線撮影		128名
	心電図		131名
至誠学舎(老人ホーム)	血液検査	(18A・4A項目)	95名
	胸部X線撮影		93名
	心電図		94名
パサージュいなぎ (精神薄弱者厚生施設)	血液検査	(18A・4A項目)	157名
	胸部X線撮影		85名
	心電図		86名

3. 生活習慣病その他重要な疾病の予防、診断、治療に関する助成事業(同条第3号事業)

(1) 第32回三越医学研究助成(助成金総額1,500万円)

医学水準向上のため、すぐれた医学研究を格段に発展させることを目的として、東京都内の大学医学部、研究機関、病院等を対象に、当財団で定めた研究課題(注)について6月21日(月)より公募を開始し、8月15日(日)締め切りまでに合計18件の応募があり、外部審査も含め、選考委員会による厳正な審査の結果、助成対象者を下記の通り9名に決定、11月13日(土)に三越日本橋本店7階特別食堂「不二の間」にて贈呈式を行い、助成金をそれぞれ交付した。

第32回 三越医学研究助成対象者

氏名	年齢	所属機関	課題 分類	研究課題	助成金
うちだ 洋子 内田 洋子	52歳	財団法人東京都高齢者研究 福祉振興財団 老人総合 研究所 老化神経科学	A	蛋白性ラジカルスカベンジャーによる外傷性脳障害の遺伝子治療に関する研究	150万円
はっとり 浩一 服部 浩一	39	東京大学医科学研究所 再生医療の実現化プロジェクト幹細胞制御領域	A	酸化ストレスと組織再生のダイナミクス解析	200万円

ふじい ひろあき 藤井 博昭	4 3	順天堂大学・医学部 病理学第二講座	B	早期表面型大腸腫瘍を表面陥凹型および側方発育型に分類した分子病理学的解析 - 新規癌関連遺伝子 Birt - Hogg - Dubé(BHD)および Niban 遺伝子解析を中心にして -	150 万円
たくほ かいよ 田久保 海誉	5 5	東京都老人総合研究所 高齢者の臓器と組織の研究グループ	B	バレット食道腺癌の発生予測 - 新たに開発した組織切片 F I S H 法によるテロメア量を指標として -	200 万円
やまぎし よしゆき 山岸 由幸	3 5	慶應義塾大学医学部 消化器内科	B	消化器癌の成因と治療 「食道扁平上皮癌の p53 癌抑制遺伝子変異とアルコール代謝酵素の関連に関する研究」	150 万円
おおにし ゆきこ 大西 由希子	3 4	朝日生命成人病研究所 内分泌代謝科	C	メタボリックシンドロームを構成する糖尿病・高血圧・高脂血症・肥満やその結果としてもたらされる動脈硬化性疾患について日本人と日系米人を調査し、それぞれの発症および進展に関わる因子を分析する。	150 万円
いたばし かずお 板橋 家頭夫	5 1	昭和大学医学部 小児科学教室	C	乳児期の栄養と生活習慣病発症リスクに関する検討 母乳栄養は生活習慣病を予防できるか	150 万円
わた ひろたか 綿田 裕孝	3 8	順天堂大学医学部内科学 代謝内分泌学	C	食後高血糖状態の何が動脈硬化を起こすか? - メタボリックシンドロームに対する効率的治療を目指して -	200 万円
きかい じゅうろう 酒井 寿郎	4 1	東京大学・先端科学技術 研究センター	C	発生に関与するヘッジホッグシグナル制御によるインスリン分泌機能改善作用の解明	150 万円

(注) 研究課題

- A 酸化ストレスとその予防と治療
- B 消化器癌の成因と治療
- C 日本人におけるメタボリックシンドロームと動脈硬化

(2) 第5回海外留学渡航費助成(助成金総額300万円)

海外留学を志す若手医学研究者をバックアップする為、留学費用の一部として渡航費の助成を東京都内の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に6月21日(月)より公募を開始し、8月15日(日)締め切りまでに合計4件の応募があり、選考委員会による厳正な審査の結果、対象者を下記の通り2名に決定、11月13日(土)に三越日本橋本店7階 特別食堂「不二の間」にて贈呈式を行い、助成金をそれぞれ交付した。

第5回 海外留学渡航費助成対象者

氏名	年齢	所属機関	留学先	現在の専攻	研究課題	助成金
いしやま てつ 石山 哲	31 歳	東京慈恵会医科 大学大学院	M D アンダー ソン癌センター	外科腫瘍学 (特に膵臓癌)	新規 N F - k B 遺 伝子阻害剤の開発	50 万円

あべ 阿部 恒平	34	聖路加国際病院	ラッシュ大学 心臓胸部血管外 科	心臓胸部血 管外科	大型動物の慢性心 不全モデルに対す る無拍動型補助人 工心臓を用いた長 期補助の影響	50万円
-------------	----	---------	------------------------	--------------	--	------

4. 健康保持増進のための援助活動（同条第4号事業）

（1）東京都児童福祉施設競技大会

健康の保持増進を目的とした東京都後援の児童福祉施設競技大会に以下の通り寄贈を行った。

バレーボール、ドッチボール

日 程：7月22日（木）

場 所：東京体育館

寄贈品：バレーボール 公認ボール 15個

〃：ドッチボール 公認ボール 20個

尚、参加賞としてノートを700名に寄贈した。

野球大会

日 程：7月30日（金）～31日（土）

場 所：三鷹市大沢総合グラウンド

寄贈品：野球用具 15セット

尚、参加賞としてノートを400名に寄贈した。

（2）三多摩児童養護施設駅伝・マラソン大会

三多摩地区の養護施設児童の体力向上を目的としたスポーツ大会に参加賞を寄贈した。

日 程：2月11日（水）

場 所：国営昭和記念公園

寄贈品：スポーツタオル 300枚

（3）その他協力

援助金を次の通り交付した。

財団法人がんの子供を守る会（小児がん撲滅運動への援助） 10万円

社会福祉聖明福祉協会（盲老人、虚弱高齢者の方々の健康促進） 20万円

財団法人日本万歩クラブ（ウォーキング普及活動への援助） 70万円

5. 保険衛生思想の普及（同条第5号事業）

「生活習慣病」をテーマに、新聞等の媒体を介して広く一般の方々から参加を募り、健康セミナーを開催した。

<平成16年度開催結果>

回 数：7回（健康セミナー・健康講座）（前年 5回）

参加者数：延べ 2,179名（前年 1,293名）

内容は以下の通り。

（1）健康セミナー

第9回健康セミナー開催

日 時：7月3日（土）午後1時～4時

場 所：三越日本橋本店6階 「三越劇場」

参加人員：500名（定員500名）

テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」

講師・演題：三越厚生事業団常務理事 中村 治雄

「生活習慣病と痴呆」

老年病研究付属病院名誉教授 平井 俊策

「老年期の痴呆について」

パネルディスカッション：パネリスト 平井 俊策・中村 治雄

司 会 船津 和夫（三越診療所所長）

第10回健康セミナー開催

日 時：9月30日(木) 午後1時～4時
場 所：三越日本橋本店6階 「三越劇場」
参加人員：420名(定員500名)
テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」
講師・演題：三越診療所所長 船津 和夫
「胃腸の病気から身を守るには - 食道・胃 - 」
慶應義塾大学医学部消化器内科教授 日比 紀文
「胃腸の病気から身を守るには - 大腸 - 」
パネルディスカッション：パネリスト 日比 紀文・船津 和夫
司 会 中村 治雄(三越厚生事業団常務理事)

第11回健康セミナー開催

日 時：11月15日(月) 午後1時～4時
場 所：三越日本橋本店6階 「三越劇場」
参加人員：420名(定員500名)
テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」
講師・演題：三越診療所副所長 山下 毅
「動脈硬化から身を守るには - コレステロール・中性脂肪などの立場から - 」
埼玉医科大学内科学教授 片山 茂裕
「動脈硬化から身を守るには - 高血圧の立場から - 」
パネルディスカッション：パネリスト 片山 茂裕・山下 毅
司 会 中村 治雄(三越厚生事業団常務理事)
尚、健康セミナーに先立ち、第32回医学研究助成対象者代表綿田裕孝氏(順天堂大学医学部内科学講師)による記念講演が行われた。

第12回健康セミナー開催

日 時：2月4日(金) 午後1時～4時
場 所：京王プラザホテル4階 「扇」
参加人員：400名(定員400名)
テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」
講師・演題：三越診療所医師部副部長 細合 浩司
「糖尿病と脳卒中」
江戸川病院院長 加藤 正弘
「脳卒中とその予防」
パネルディスカッション：パネリスト 加藤 正弘・細合 浩司
司 会 中村 治雄(三越厚生事業団常務理事)

第3回健康講座開催

日 時：6月5日(土) 午後1時～4時
場 所：「ブティストホール」(中央区築地)
参加人員：157名(定員160名)
テ ー マ：「間違っていますか？あなたの生活習慣」
講 師：三越診療所副所長 山下 毅
プログラム：・講演/テーマ「肥満の予防」
・映像でみる生活習慣病Q & A
・生活習慣病クイズ
・なんでも聞いてみよう生活習慣病相談会

第4回健康講座開催

日 時：8月6日(金) 午後1時～4時
場 所：「武蔵野公会堂」(武蔵野市吉祥寺)
参加人員：142名(定員200名)
テ ー マ：「間違っていますか？あなたの生活習慣」

- 講師：三越診療所副所長 山下 毅
 プログラム：・講演/テーマ「肥満の予防」
 ・映像でみる生活習慣病Q & A
 ・生活習慣病クイズ
 ・なんでも聞いてみよう生活習慣病相談会

第5回健康講座開催

- 日時：10月15日(金) 午後1時～4時
 場所：「多摩センター三越7階 スカイラウンジ」(多摩市)
 参加人員：140名(定員200名)
 テーマ：「コレステロールを考える」
 講師：三越厚生事業団常務理事 中村 治雄

(2) 広報活動

保健衛生思想の普及のため、広報活動を次の通り実施した。

- ・毎年9月と翌年2月に実施しているアルタビジョン利用による広報活動用のビデオ製作を行った。
 本年は、アルタビジョン新宿は新宿区の中山弘子区長、アルタビジョン銀座は中央区の矢田美英区長に出演のご協力を頂き、健診の大切さや健康生活の重要性について呼びかけると共に、また、厚生労働省の生活習慣病予防キャンペーンやがん征圧月間キャンペーンに協力した。
- ・9月1日(月)～9月30日(火)
 アルタビジョン新宿・銀座を利用して、新宿区長並びに中央区長協力によるビデオを放映した。併せて厚生労働省の保健衛生思想普及キャンペーンに下記の通り協力、放映を行った。
 キャンペーンテーマ：「がん征圧月間」 9月 1日～9月30日
 「老人保健福祉週間」9月15日～9月21日
 放映時間：新宿 午前10時～午後11時の間 毎時1回 30秒間
 1日13回 合計29日間 延べ377回放映
 銀座 午前 9時～午後10時の間 毎時1回 30秒間
 1日13回 合計29日間 延べ377回放映
- ・2月1日(火)～2月28日(月)
 放映内容は9月放映の同映像を使用し、キャンペーンテーマを変更して実施した。
 キャンペーンテーマ：「生活習慣病予防週間」2月 1日(火)～2月 7日(月)
 「生活習慣病予告知」2月 8日(火)～2月28日(月)
 放映時間：新宿 午前10時～午後11時の間 毎時1回 30秒間
 1日13回 合計27日間 延べ351回放映
 銀座 午前 9時～午後10時の間 毎時1回 30秒間
 1日13回 合計27日間 延べ351回放映

6. 診療施設の設置運営(同条第6号事業)

診療患者数延数、職域入社、定期健診延数は次の通りである。

延総数	27,357名
(1) 延数内訳	
内科	20,643名
予防注射	847名
職域入社・定期健診	76社又は団体 6,001名
(2) 種目別内訳とその適用患者数	
国民健康保険	8,332名
社会保険(政府管掌)	1,909名
" (組合管掌)	9,595名
" (その他)	673名
自費	134名
職域入社・定期健診	6,001名

毎年実施している新宿区・中野区役所主催の区民を対象にした成人健康診査は、延1,968名で昨年に較べ27名の増であった。

管理・運営事項

1. 理事会・評議員会の開催

開催日 平成16年4月22日(木)

場所 株式会社三越本社会議室

<評議員会>

- 議題
1. 平成15年度(第57年度)事業報告案及び収支計算書、正味財産増減計算書貸借対照表並びに財産目録案審議の件
 2. 理事並びに監事選任の件

<理事会>

- 議題
1. 平成15年度(第57年度)事業報告案及び収支計算書、正味財産増減計算書貸借対照表並びに財産目録案承認の件
 2. 評議員選任の件

報告事項

1. 寄附行為の一部変更認可の件
2. その他

開催日 平成17年3月24日(木)

場所 株式会社三越本社会議室

<評議員会>

- 議題
1. 公益事業基金規程案審議の件
 2. 平成16年度予算額一部補正案審議の件
 3. 平成17年度(第59年度)事業計画案及び収支予算案審議の件

<理事会>

- 議題
1. 公益事業基金規程案承認の件
 2. 平成16年度予算額一部補正案承認の件
 3. 平成17年度(第59年度)事業計画案及び収支予算案承認の件

報告事項

1. 公益法人制度改革並びに新公益法人会計基準について
2. ヘリカルCT導入の件
3. 人間ドック・健診施設機能評価認定について

2. 登記事項

事業変更登記 平成16年 4月 5日(月)

資産総額登記 平成16年 5月24日(月)

役員変更登記 平成16年 5月24日(月)

3. 報告事項

中間業務監査実施 実施日:平成16年10月13日(水)

立会者:監事2名、理事長、常務理事、

監査内容:「コンプライアンスチェックシート」に基づき、事業執行状況の監査を行った。

毎四半期毎の事業報告を6月・9月・12月の3回、理事・監事・評議員全員に送付した。

各種規程を作成、設置した。

- ・「三越厚生事業団 職員の心得」
- ・「三越厚生事業団 倫理憲章」
- ・「職員の倫理に関する規定」
- ・「三越厚生事業団 倫理委員会基準」
- ・「三越厚生事業団 個人情報に関する規程」

収支計算書総括表

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	診療事業特別会計	内部取引消去
財 産 運 用 収 入	160,798,024	160,798,024	0	0
事 業 収 入	633,486,665	399,912,790	233,573,875	0
低額集団健診事業収入等	399,912,790	399,912,790	0	0
診 療 事 業 収 入	233,573,875	0	233,573,875	0
雑 収 入	46,188,923	42,532,774	3,656,149	0
敷 金 戻 り 収 入	41,945,688	41,945,688	0	0
特 定 預 金 取 崩 収 入	0	0	0	0
繰 入 金 収 入	0	168,974,409	0	168,974,409
当期収入合計 (A)	882,419,300	814,163,685	237,230,024	168,974,409
前期繰越収支差額	928,522,153	629,008,371	299,513,782	0
収入合計 (B)	1,810,941,453	1,443,172,056	536,743,806	168,974,409

支出の部

科 目	合 計	一般会計	診療事業特別会計	内部取引消去
事 業 費	705,820,536	489,862,811	215,957,725	0
低額集団健診事業費等	489,862,811	489,862,811	0	0
診 療 事 業 費	215,957,725	0	215,957,725	0
管 理 費	119,513,572	119,513,572	0	0
固 定 資 産 取 得 支 出	0	0	0	0
特 定 預 金 支 出	250,000,000	250,000,000	0	0
繰 入 金 支 出	0	0	168,974,409	168,974,409
法 人 税 等	4,654,600	0	4,654,600	0
当期支出合計 (C)	1,079,988,708	859,376,383	389,586,734	168,974,409
当期収支差額 (A) - (C)	197,569,408	45,212,698	152,356,710	0
次期繰越収支差額 (B) - (C)	730,952,745	583,795,673	147,157,072	0

正味財産増減計算書総括表

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

増加の部

(単位:円)

科目	合計	一般会計	診療事業特別会計
資産増加額	250,000,000	250,000,000	0
負債減少額	118,974,409	0	118,974,409
増加額合計(A)	368,974,409	250,000,000	118,974,409

減少の部

科目	合計	一般会計	診療事業特別会計
資産減少額	369,504,883	217,148,173	152,356,710
負債増加額	0	0	0
減少額合計(B)	369,504,883	217,148,173	152,356,710
当期正味財産減少額(C) = (A) - (B)	530,474	32,851,827	33,382,301
前期繰越正味財産額(D)	2,254,937,575	2,074,398,202	180,539,373
内部取引消去	0	0	0
期末正味財産合計額(F) = (C) + (D)	2,254,407,101	2,107,250,029	147,157,072

貸借対照表総括表

平成17年 3月31日現在

資産の部

(単位:円)

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計
流動資産合計	761,067,691	608,642,628	152,425,063
固定資産合計	1,726,039,256	1,726,039,256	0
資 産 合 計	2,487,106,947	2,334,681,884	152,425,063

負債の部

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計
流動負債合計	30,114,946	24,846,955	5,267,991
固定負債合計	202,584,900	202,584,900	0
負 債 合 計	232,699,846	227,431,855	5,267,991

正味財産の部

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計
正 味 財 産	2,254,407,101	2,107,250,029	147,157,072
(うち基本金)	(1,035,878,174)	(1,035,878,174)	(0)
(うち当期正味財産増減額)	(32,851,827)	(32,851,827)	(0)
負債及び正味財産合計	2,487,106,947	2,334,681,884	152,425,063

財 産 目 録 総 括 表

平成17年 3月31日現在

区 分	所在・数量等	基本財産 円	運用財産 円	合 計 円
(資産の部)				
流動資産				761,067,691
1.現金預金			167,677,424	
(1)現金	手許有高 770,221 円			
(2)普通預金	三井住友銀行新宿通支店 152,102,041 円			
(3) "	東京三菱銀行新宿中央支店 2,058,694 円			
(4) "	山梨中央銀行新宿支店 10,746,468 円			
(5)定期預金	山梨中央銀行新宿支店 2,000,000 円			
2.未収入金			66,227,759	
3.有価証券			523,732,700	
(1)有価証券	国債 99,700,000 円			
(2) "	ユーロ円債 100,000,000 円			
(3) "	" 100,000,000 円			
(4) "	" 100,000,000 円			
(5) "	" 100,000,000 円			
(9)保険積立金	三井住友海上火災保険(株) 24,032,700 円			
4.貯蔵品			1,531,237	
5.前払費用			1,898,571	
固定資産				1,726,039,256
1.建物造作			106,875,583	
2.建物附属設備			29,575,206	
3.器具備品			259,249	
4.有価証券		985,878,174		
5.定期預金		50,000,000		
6.敷金			100,866,144	
8.退職給与引当預金			39,584,900	
9.減価償却引当預金			163,000,000	
10.公益事業基金			250,000,000	
資 産 合 計		A 1,035,878,174	B 1,451,228,773	2,487,106,947
(負債の部)				
流動負債				30,114,946
1.買掛金			6,662,759	
2.未払金			17,570,950	
3.未払法人税等			3,629,000	
4.預り金			2,252,237	
固定負債				202,584,900
1.退職給与引当金			39,584,900	
2.減価償却引当金			163,000,000	
負 債 合 計				C 232,699,846
差 引 (B)-(C)			D 1,218,528,927	
正 味 財 産 (A)+(D)				2,254,407,101